

きっと家族の  
命をつなぐ。  
きっとその時  
役に立つ。



No.  
**17**

踊る冷蔵庫、飛び跳ねる食器の恐怖…

## 危険地帯 「キッチン」を守れ！



**大** 地震が起こった際、キッチンには家具の転倒・落下・移動のリスクが数多く潜んでいます。前後に揺れながら歩くように移動する「ロッキング移動」が起こりやすい冷蔵庫や、中の食器が落ちて割れると大ケガにつながる食器棚に加え、電子レンジのような重量のある家電もあり、地震の際は家中でも特に危険の多い場所です。ある調査では「最も時間のかかる家事は何か」という問い合わせに、約半数の主婦が「食事の

支度」と答えているように、キッチンは長い時間を過ごす場所のひとつ。いざというときに身の安全を守るために対策を講じる必要があります。キッチンの収納には利便性を追求したくなりがちですが、いざというときに「物が落ちにくい」「ケガをしにくい」という安全性の観点から見直すことも大切です。以下のポイントを中心にキッチンを点検してみましょう。

幼稚園や小学校の夏休み期間中は、お子さんがキッチンに入り込む可能性がいつもより高くなります。もしキッチンで地震に遭ってもお子さんの安全を守れるよう、防災対策をしっかりと行いましょう！

### ＼キッチン点検 目のつけどころ／

#### ＊ キッチンは「隠す収納」を基本に

オープンシェルフやラック、フックを使う「見せる収納」ではなくシンク下の収納スペースや扉付きの食器棚に入れる「隠す収納」を基本にしましょう。特に包丁などの刃物は出しっぱなしにせず、都度棚の中などにきちんと片付けることを習慣にしましょう。

＊ 物が棚から飛び出したり、倒れるリスクに注意  
食器棚の扉には、地震発生時に自動的に扉をロックする「耐震ラッチ」を付けておけば、棚の中で物が倒れても外に飛び出ることを防げます。酒・みりんなどの縦に長いボトルはストッカーなどに隙間がないように詰めておくと、倒れにくさもアップします。

#### ＊ 冷蔵庫や家電も一つ一つに対策を

冷蔵庫はベルトタイプの取り付け具か、突っ張り棒で固定を。電子レンジやトースターなどは、耐震ジェルやマットを敷くのがおすすめです。耐熱性の良い製品を選びましょう。

#### ONE MORE!

##### “習慣”で備えることも大切

器具を使い終わったらすぐしまう、調理中は火の近くに不要な器具を置かない、といった行動を習慣にすることで地震発生時に事故が起きるリスクを下げることができます。収納の工夫に加えて、意識の面でも備えを。

どの部屋でも最低限の安全を保ちましょう

# 部屋別の備え はじめの一歩!

いつ、どこで発生するのか予測もつかないのが地震です。キッチンに限らず、家のどの部屋で被災しても慌てずに済むような備えができると理想的。今回は部屋ごとのポイントを紹介します。

## リビング

### 家具や小物への個別対策と、整理整頓で備えよう

テレビなどの家具を固定するだけでなく、花瓶やディフューザーなど置く場所が決まっているインテリア小物にも、耐震・防振マットを敷くなどの対策を行っておきましょう。ただでさえ散らかりがちなリビングは、使ったものを放置しないで片付けの徹底を。また停電に備えて、リビングはもちろん各部屋に懐中電灯を備えておきましょう。スマホで代用もできますが、災害時はバッテリーが何より貴重。できるだけスマホは使わない工夫が大切です。



ナテックの耐震・防振マット「トリピタ」は、震度7クラス対応の強度と、はがしやすいお手軽さを兼ね備えた便利グッズ♪



## 浴室

### すぐに出られる備えが肝心

入浴中に地震が起きたとき、ケガに注意しながらすぐに浴室を出られるよう、スリッパとバスロープを脱衣所に常備しておきましょう。壁掛けのラックにハサミやカミソリなど刃物を入れている場合は、落下による危険性があるので避け、洗面台の戸棚へしまうことを習慣にしましょう。



断水で入浴できなくなった際には「ふく温泉※」が大活躍。タオルに染み込ませて拭くだけで体がサッパリしますよ。※一部防災セットにあり

## トイレ

### 狭い空間だからこそケガ防止を

トイレでは上部のスペースが収納によく活用されますが、地震で物が落ちるリスクがあります。上部の収納が扉付きの場合は耐震ラッチを、扉がなければ家具用の落下防止ベルトを付けるなど、物が落ちにくくなる工夫をしましょう。



## 寝室

### 避難に必要なグッズは必ず枕元に

メガネやスリッパなど避難する際に必要性が高いものは、すぐ手に取れるよう枕元に常備を。また懐中電灯も枕元に忘れずにセットしておきましょう。廊下にはセンサーライトを設置しておくとさらに安心感につながります。



ECサイトでも取り扱い中の「備蓄用トイレットペーパー」は、10年の長期保存に対応！



### 部屋を出て、備えのもう一歩！

## 車

### 避難に必要な最低限のグッズは車に積みっぱなしでOK

地震に限らず、災害の影響で避難する際は一刻を争います。すぐに避難できるよう、最低限の必要なグッズは車に積んでおきましょう。ナテックの「車載防災セット」なら、災害時に役立つグッズがそろっていて便利！



お子さんが留守する機会のあるご家庭では、子ども用の防災セットを子ども部屋に置いておくのもオススメ。



「サステナ防災」に取り組んでいます！

ナテックは土に還る素材のホイッスルや使い捨て食器など、環境に配慮した素材で製品をつくっています。誰もが備える必要があるからこそ、防災グッズもサステナブルに！

Instagramで最新情報を発信中！  
見てほしいだもん♡



▲Instagram



▲ECサイト



NATEC EMERGENCY  
公式キャラクター ナテくま